

令和7年度 鈴鹿市立深伊沢小学校

学校経営の改革方針

1 めざす学校の姿

《鈴峰中学校区統一キャッチコピー》

「地域とともにたくましくチャレンジする鈴峰の子」

【学校教育目標】

「人と人とのつながりを大切にし、
豊かな心でたくましく生きるこどもの育成」

【めざす学校像】

- 笑顔と会話のあふれる、みんなが行きたくなる学校
- 地域・家庭とともに歩む、信頼される学校

【めざすこども像】

- 自分の思いや考えを持ち、進んで学ぼうとするこども
- 人と人とのつながりを大切にし、思いやりのあるこども
- 自分や他の人の生命・健康・安全を大切にするこども

【めざす教師像】

- 確かな指導力と豊かな人間性で、こどものよさを引き出す教師
- 自己研鑽に努め、互いに学び合う同僚性の高い教師

2 基本方針

- (1) 豊かな人間性と健やかな身体を持つこどもの育成
 - すべての教育活動で『命』『人権』『仲間』を大切にした教育の推進
 - 自己肯定感が高く、仲間とともに意欲的に活動するこどもの育成
- (2) 主体的に学び、確かな学力を身につけたこどもの育成
 - 特別支援教育の視点に立ち、個々の課題に対応した教育の推進
 - 聴き合い話し合う活動を通じた、コミュニケーション力の育成
 - ICT 機器の効果的な活用推進による授業改善
- (3) 安全・安心な環境を整えた学校の創造
 - 安全教育の推進と、安全管理の徹底及び環境整備の充実
- (4) 地域・家庭・校区の学校と連携した学校の創造
 - 学校評価に基づいた経営改善による、地域(学校運営協議会)や保護者との信頼関係構築と教育活動の連携・協働の推進
 - 中学校区の小中学校との連携・協働の強化

- (5) やりがいと確かな指導力でこどもを伸ばす教職員集団の構築
- 教職員研修の推進と職場の同僚性を高める組織づくり
 - 校務支援システムの効果的な活用を軸にした、働き方改革の推進

3 達成方策

学校長がビジョン・到達目標を明示し、教職員が一体となって目標推進するよう、PDC Aサイクルを進める。

- (1) 豊かな人間性と健やかな身体を持つこどもの育成
- 教職員が人権意識を高く持ち、いじめや差別を見逃さない風土を作り、不登校を生まない安心できる学級集団づくりの力量を高めるため、人権教育推進担当教員を中心にした研修(3回以上/年)や研究授業(1回/年)を行う。
 - 児童の情報共有を月1回実施するとともに、特別支援教育コーディネーターを中心にしたケース会議や支援会議を適切に行い、支援体制を確立する。
- (2) 主体的に学び、確かな学力を身につけたこどもの育成
- 研修長を中心に、児童の自己調整力と情報活用能力を高め、主体的に学ぶ授業づくりに取り組む。(研究授業3回/年)
 - 児童の非認知能力を高める教育を、日々の教育活動の中で実践する。(児童アンケートでの自制心に関する肯定的な回答80%以上)
- (3) 安全・安心な環境を整えた学校の創造
- 教職員が危機管理意識を高く持ち、生活指導担当を中心に、安全教育に積極的に取り組む。(3回/年)
- (4) 地域・家庭・校区の学校と連携した学校の創造
- 教頭、事務職員を中心に、PTAや地域と連携して環境整備に努める。
 - 地域や保護者へ学校の教育活動を積極的に発信する。(1回以上/月)
 - 学校関係者評価や地域・保護者の意見を積極的に取り入れた学校改善に取り組む
 - 鈴峰中学校校区で連携し、合同研修や担当者会、実践交流などを積極的に進める。
- (5) やりがいと確かな指導力でこどもを伸ばす教職員集団の構築
- 教職員の資質向上を目指し、積極的に研修を奨励する。
 - 職員のワークライフバランスを大切に、働き方改革を進める。

働き方改革

- 定時退校日 月3日設定(第3木曜日、第4金曜日、他1日)
 - ・実施職員の割合95%以上
- 会議短縮
 - ・60分以内終了 80%
- 時間外労働上限
 - ・月45時間、年360時間を超える職員0
 - ・職員一人当たりの時間外勤務 月平均20時間以下